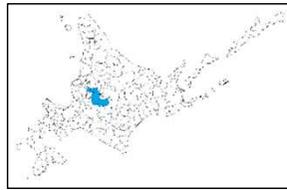


# JR根室線 根室本線対策協議会

昭和56年3月3日設置



## 概要

JR北海道根室本線は滝川駅～根室駅まで北海道を縦断する長大な本線である。本協議会はそのうち、滝川～新得までの自治体で構成していたが、令和6年3月31日に富良野～新得間が廃線となったことで、現在では、滝川市・赤平市・芦別市・富良野市の4自治体で協議会を構成している。滝川駅～富良野駅間には9の駅があり、路線は54.6kmとなっている。令和7年3月のダイヤ改正をもって、東滝川駅が廃止となり、駅数は8駅となった。

### ○JR北海道根室線の輸送密度及び収支(令和6年度)

- ・輸送密度 457人／日
- ・営業損益 △1,100百万円

### ○JR北海道根室線の課題

- ・継続的な利用者の減少
- ・観光利用の低調及び観光資源の掘り起こし不足

### ○地域公共交通再構築調査事業の主な内容

- ・通勤定期券モニター事業
- ・根室線周遊ラリー事業
- ・技能実習生への利用促進事業
- ・臨時特急列車の運行事業

### ○JR根室線根室本線対策協議会開催状況

- 8月11日 第1回協議会幹事会を開催
  - ・R7事業の進め方
  - ・R8事業の検討
- 5月1日 第1回協議会総会を開催
  - ・R7年度事業計画及び収支予算

### JR北海道根室線の概要



## ●事業の結果概要

### 【通勤定期券モニター事業】

- ◆目的
  - ・JRでの通勤を体験してもらい、今後の継続意向や通勤定期券の拡販見込みを調査し、継続的に利用いただくための改善点を探る。
- ◆事業概要
  - ・JR以外で通勤している方を対象に応募を募り、無料で1か月の定期券を配布する。
- ◆実施期間: 募集期間 令和7年7月1日～11月18日  
 利用期間 令和7年8月1日～12月31日
- ◆対象区間: JR根室線(滝川駅～富良野駅)
- ◆目標: 25名の利用
- ◆結果: 応募者 1名
  - ・応募方法は、専用のフォームへの入力にて受付。
- ◆アンケート調査結果
  - ・1件のアンケートを回収。(回収率100%)
  - ・全体的には肯定的な評価傾向であったが、継続しての利用の意向は低い状況。
  - ・改善への意見としては、路線バスや主要駅での接続改善やキャッシュレス決済の導入が求められている。

**JR根室線**  
(滝川～富良野間)  
**通勤定期券モニター募集**

マイカー通勤を列車通勤に変えてみませんか?

対象区間  
滝川～富良野間

対象エリアにお住まいの方に、今だけ「JR通勤定期券を無料提供」します!

対象者 滝川市・赤平市・戸別町・富良野市のいずれかに在住し、現在マイカー通勤をしている方

モニター応募 1か月のJR通勤定期券(滝川～富良野)を無料提供。ご利用後アンケートにお答えいただけます。  
※通勤定期券は、ご利用開始の前日までに届く場合があります。届かない場合は、ご利用開始の日から1週間以内にお申し込みください。

実施期間 ●モニター募集期間: 令和7年7月1日～11月18日  
 ●定期券利用可能期間: 令和7年8月1日～12月31日

申込方法 申込方法は裏面に記載されています。

根室本線対策協議会 構成団体: 滝川市・赤平市・戸別町・富良野市・JR北海道

### ◆実施結果をふまえた評価

- ・生活の一部である「通勤方法」を変更することが非常に困難であることがわかった。
- ・目的が「JRでの通勤を体験してもらう」ことであったので、利用者を増やすために定期券の無料配布だけではなく、そのほかにも特典を付与することも検討すべきだった。

# JR根室線根室本線対策協議会 地域公共交通再構築調査事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 【根室線周遊ラリー事業】

#### ◆目的

・観光への付加価値を高め、バスとの共通乗車の連携を実施することで、回遊性向上と札幌圏からの誘客を図る。

#### ◆事業概要

・令和5年度に実施したバスとの連携事業を改良して実施。

・沿線自治体内の施設にも協力をいただき、ラリーの要素を追加。

・1日散歩きっぷとラベンダーフリーパスを購入した方が、対象の施設で乗車券を提示することで、ノベルティを受け取れ、一部の路線バスに無料で乗車できる仕組みを構築。

◆実施期間：令和7年8月1日（金）～10月13日（月祝）

◆対象区間：JR根室線（滝川駅～富良野駅）

※バス利用区間も同様の自治体間

◆目標：総利用者300人

◆連携事業者：北海道中央バス、ふらのバス

◆連携施設：滝川市【美術自然史館・こども科学館】  
赤平市【炭鉱遺産がイダンス施設・AKABIRAベース】  
芦別市【道の駅、百年記念館】  
富良野市【博物館、ワイナリー】

#### ◆結果

・参加者数：84人（施設ごとのノベルティ配布最大数から推測）

・バス利用者数：98件

#### ◆アンケート調査結果

・周遊ラリー自体は、満足割合が70%以上となり、全体的に好評。

・根室線の改善点としては、沿線情報の発信強化、主要駅の接続改善が挙げられた。



施設名	住所	営業時間	備考
滝川市美術自然史館	滝川市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
こども科学館	滝川市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
赤平市炭鉱遺産がイダンス施設	赤平市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
AKABIRAベース	赤平市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
芦別市道の駅	芦別市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
百年記念館	芦別市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
富良野市博物館	富良野市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで
ワイナリー	富良野市	10:00～17:00	10月13日（月祝）まで

#### ◆実施結果をふまえた評価

・バスとの連携により、移動先の選択肢が増えたという声もあり、こうした事業での利用者増加は見込める結果となった。

・JRとバスの共通の乗車券があることで、相互に利用増の効果が見込まれる。

・参加者数及びバス利用者数については想定より少ない状況となっており、利用者数を伸ばす工夫がさらに必要。

・アンケート結果から改善点として、沿線情報の発信強化が求められており、次年度は事業の展開に関するものに限らず沿線の情報発信を強化し3ていきたい。



## ●事業の今後の改善点(特記事項含む)

### 通勤定期モニター事業

- ・通勤定期モニターの募集にあたり、計画していた周知のほか沿線の商工会議所と連携し、広く事業所へ周知を行ったが、応募はなく自家用車からの転換は見込めないと考えられる。
- ・日常生活で利用している通勤手段を変更するというのは予想以上に大きなハードルとなったものと思われる。

### 根室線周遊ラリー

- ・アンケート調査結果は利用者の7割が満足しており、バスとの連携は移動の選択肢が増えることから利用者増加の可能性がある。
- ・利用者増加のためには魅力ある周遊コースの設定や特典のあり方を検討、対象施設と更なる連携が必要であり、沿線情報の発信を強化、主要駅の接続等の改善が必要である。

### 技能実習生への利用促進事業

- ・技能実習生のみで公共交通機関を利用して移動するハードルやアンケート調査の回答もなかったことは、当該「日帰り旅行」企画の趣旨を理解し企画乗車券を購入するに至るまでコミュニケーションも含めて壁となった可能性があり、課題が露呈した結果となった。
- ・今後は技能実習生の行動変容や乗車券の購入方法等の理解度を改めて調査する必要がある。

## ●事業実施の適切性

事業は計画通り適切に実施されている

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は計画どおりに実施されている。
- ・通勤定期モニター事業について、大きなハードルを乗り越えるため、より根本的な対策やターゲット層・アプローチ方法をご検討いただきたい。
- ・根室線周遊ラリーについて、さらなる利用者増加のためには、多岐にわたる改善策の実施が不可欠であり、今後の事業の深化に向けた戦略的な施策をご検討いただきたい。
- ・技能実習生への利用促進事業について、技能実習生の行動変容や乗車券の購入方法に対する理解度を改めて深く調査・分析し、実態に即した効果的な利用促進策をご検討いただきたい。
- ・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいただきたい。